

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

ひらかたし・かたのし
大阪府 枚方市・交野市
が応援するふるさと名物

©七夕伝説と天の川ツアーリズム



気候・歴史・文化

- 枚方市は、面積65.12km²・人口40万人超の中核市で、大阪府の北東部にあり大阪・京都・奈良の中間点（府県境）に位置し、西に流れる淀川と東は生駒山地に続く山並みで、市内を流れる川は生駒山地に端を発した清流（天野川など）と地形から生まれる朝夕の温度差により豊かな農作物が育つ。また、枚方には古代から様々な歴史文化遺産が数多く残り、ロマンにあふれる多種多様な地域の資産に恵まれたまちです。
- とともに全長100mを超える前方後円墳で国史跡の「**禁野車塚古墳**」（きんや くるまづかこふん）と「**牧野車塚古墳**」（まきの くるまづかこふん）、第26代継体天皇が即位したとされる「**樟葉宮跡伝承地**」（くすのはのみやあとでんしょうち）、古代日本と朝鮮半島との緊密な結びつきを象徴する「**特別史跡百濟寺跡**」（とくべつしせき くだらでらあと）、江戸時代には京と大阪を結ぶ淀川舟運の中継港としても賑わった枚方宿を代表する町家を活用した「**枚方宿鍵屋資料館**」、秋の風物詩として全国に名を馳せたひらかた大菊人形の「**ひらかたパーク**」、古く在原業平が七夕にちなんだ歌を詠んだ天野川に架けられた橋には「**かささぎ橋**」「**天津橋**」等それにちなむ名がつけられています。



国見山からの眺望



天野川・かささぎ橋



牽牛石



七夕まつり

気候・歴史・文化

- 交野市は、面積25.55km²・人口7万7千人弱の市で、大阪市、京都市、奈良市までの距離が何れも約20kmの所にあり、古くからこの3都市の文化を吸収し、独特の風土を培ってきた。市の約半分が山地で占められており、その中には金剛生駒紀泉国定公園があり、交野吊橋「**星のブランコ**」から府民の森「**ほしだ園地**」が眼下に望め、四季折々の美しい風景は市民のみならず、大阪府民や近隣の府県の人々にも愛されています。山地から流れる多くの溪流、朝夕の温度差により美味しいお米と地酒、豊かな農作物が育ちます。
- 枚方市・交野市周辺地域は古くは交野ヶ原と呼ばれ、平安時代に遊猟に訪れていた宮廷人が、夜の大空に星の連なる「**天の川**」になぞらえ、七夕や星にまつわる地名や伝説を定着させたと考えられています。織姫にちなんだ「**機物神社**」(はたものじんじゃ)、牽牛石碑のある中山観音寺跡の中間点にある天野川にかかる橋は「**逢合橋**」(あいあいばし)と呼ばれ、七夕の夜に二人が出会ったという場所があります。八丁三所の降星伝説として平安時代、私市の「**獅子窟寺**」(ししくつじ)で弘法大師が秘法を唱えたと、七曜の星(北斗七星)が3つに分かれ、一辺が八丁の距離(約900m)の三角の形で星田の「**星田妙見宮**」(ほしだみょうけんぐう)「**降星山光林寺**」(こうせいざんこうりんじ)「**星の森**」に降りた伝説も残るロマンあふれたまちです。



主な地域資源

七夕伝説にまつわる地域資源

枚方市、交野市には天の川（天野川）が流れ、古くから七夕伝説ゆかりの地として、天の川沿いに点在する七夕や星にちなんだ名所などの観光資源のほか、七夕にちなんだキャラクターや商品など、様々な活用が図られてきております。

天野川



枚方市・交野市（交野ヶ原）に流れる天野川は、古くはこの地をたたえてあまの（甘野）といい、川水を甘野川と言ったことに由来するとの説があります。平安時代、惟喬親王と交野ヶ原へ遊猟に訪れた在原業平は、この天野川と七夕伝説を結びつけて「狩り暮らしたなばたつめに宿からむ 天の川原に我は来にけり」（一日狩りをして日暮れになってしまった。今宵はたなばた姫に宿を借りようか。私は天の川原に来たのだから）と詠んでいます。

七夕モニュメント



枚方市・香里団地の観音山公園には、牛石にちなんだ牽牛石碑・七夕歌碑など七夕モニュメントが設置され、天野川をはさんだ対岸の交野市・倉治には「織姫」にちなんだ機物神社、その天野川の中央には、年に一度七夕の夜に二人が逢うという名の橋「逢合橋」が架かっています。

天の川七夕まつり



七夕の時期には、交野市の私市水辺プラザ、星の里いわふねなどの天野川沿いに、灯籠モニュメントなどが繰り広げられる「天の川七夕まつり」をはじめ「機物神社七夕まつり」、「星田妙見宮七夕まつり」また、枚方市では「宮之阪中央商店街七夕まつり」等、数多くの七夕まつりが開催されます。

「天の川 セタロード」

枚方市・交野市に流れる、天野川沿いに点在するセタや星にちなんだ名所ルートを「**天の川 セタロード**」と名付け地域資源のパッケージ化を行い地域ブランドとして、広く市民に親しまれるように名称を定着させます。



案内所

資料展示、市民ボランティアガイド、セタグッズ、お土産物などの販売

- ・ ひらかた観光ステーション＝京阪電車枚方市駅
- ・ おりひめの里＝京阪電車私市駅



お買い物スポット

周遊中継拠点として、休憩・食事・お土産物販売など

- ・ 枚方市駅周辺、香里ヶ丘周辺、おりひめの里 など



観光スポット

降星伝説のハイキングコースや自然探索をパッケージ化

- ・ 私市、磐船神社周辺、星のブランコなど
- ・ ほしだ園地周辺のハイキングコース、降星伝説の場所

天の川コンシェルジュ



ひこぼしくん おりひめちゃん



七夕伝説と天の川ツーリズムの展開

「天の川 七夕ロード」を軸にした、観光ツアー、イベント、体験などを組み合わせたツーリズム展開を行います。



● 「七夕伝説にちなんだ名所巡り」の観光

交野ヶ原に流れる「天野川」を中心に、牛石にちなんだ牽牛石碑・七夕歌碑など七夕モニュメントがある「観音山公園」、織姫にちなんだ「機物神社」、天野川に架かる「逢合橋」や「かささぎ橋」「天津橋」など七夕伝説にちなんだ名所の地域資源を活用した観光ツアー及びお土産、地域資源を活用した商品開発を応援します。

● 「七夕まつり」などのイベントに観光客誘致

七夕の時期には、交野市の「天の川七夕まつり」「機物神社七夕まつり」「星田妙見宮七夕まつり」や、枚方市の「宮之阪中央商店街七夕まつり」など、観光地としての魅力を広く発信し観光客を誘致する取り組みを応援します。

枚方市・交野市の取り組み

1

独自の支援策

- ◆枚方市・交野市での地方創生加速化交付金事業との連携とふるさと名物の広報支援
 - ・枚方市・交野市の観光スポットを活用した周遊ルートの設定や、イベントなどを通じた集客の仕掛け作りを支援します。
 - また、既存の七夕関連商品の拡販・広報支援を行います。
- ◆「市民ガイド」育成およびガイドマップ作成
 - ・案内拠点での七夕ロードの周遊ガイドやボランティアガイドの育成支援を行います。
 - ・天野川周辺や、七夕伝説にゆかりのある地域や場所のガイドマップを作成します。
- ◆枚方市「ひこぼしくん」、交野市「おりひめちゃん」の活用
 - ・両市の産業キャラクターをPR役として活用します。また、「ひこぼしくん」、「おりひめちゃん」にちなんだ観光資源、お土産商品の開発などの支援をします。

2

協議会 事務局

- ◆推進協議会
 - ・枚方市、交野市に加えて、北大阪商工会議所及び両市の観光協会、地域の商工業者団体、さらに七夕に関連ある企業・事業者などの団体で構成します。
 - ・推進事務局を、北大阪商工会議所に設置します。
- ◆枚方市、交野市のホームページ、広報誌での広報
 - ・市ホームページでふるさと名物応援宣言を行い、ふるさと名物の紹介やイベント案内など広報します。

3

広報・ タイアップ

- ◆枚方市、交野市ポータルサイトの活用
 - ・枚方市には、「まいふれ枚方」、交野市には「織姫ねっと☆」（まいふれ交野）という地域ポータルサイトがあり、それぞれふるさと名物応援特設コーナーを作り、商品やイベントの広報、また、ふるさと名物に関するレポートや投稿などを通じて広く情報発信します。